

くらき永田保育園便り



記録的な早さで梅雨が明け、園庭はガラガラとした太陽が照り付けています。熱中症予防のため、園庭だけでなく2階のテラスにもシェードが取り付けられ景色はすっかり夏モードです。そして、あちらこちらから水遊びに興じる子どもたちの楽しそうな歓声が事務所に聞こえてきて楽しい気分をお裾分けしてもらっています。さて、先月の梅ジュースごっこには大勢の保護者の方が屋台に並んでくれたこともあり、いきいき組のみんなも満足そうに「忙しくて大変だったよ」と笑顔で報告してくれる姿が印象的でした。コロナで控え気味にしていた食育活動を含めた様々な体験ですが徐々にではありますが再開、または、手法を変えながら始めていこうと思います。

そして、7月は年長いきいき組さんのお泊り会が行われます。今年のテーマは「魔女」。保育園で起こる不思議な出来事にワクワクしたり、魔女からの手紙を心待ちにしながら、まだ会ったことのない魔女との交流を楽しみながら当日を迎えたいと考えています。保育園全体の子どもたちにも影響を与えるイベントですので、保護者の皆さんも一緒に「ウソのようなホント」の世界を是非お楽しみください。

保育園からのお願い・お知らせ

- ① 先月のお便りでもお伝えしましたが、7月8月は職員の研修や夏季休暇なども入ってきます。保育時間予定表に記入できなかった職場のお休みや、家族の旅行の日程などわかりましたら担任までお知らせください。
- ② NHK E テレで放映されている「まいにちスクスク」という番組でくらき永田保育園の乳児クラスの生活の様子が紹介されることになりました。日時は7月22日から24日の三日間（翌週には再放送もあるそうです）テーマは『保育室にまなぶ環境作り』・・・子どもたちが自ら遊んだり、着替えたりしたくなるためのヒントが詰まった内容になっています。
- ③ コロナ感染予防のため5月11～17日の一部休園とした際の給食費に関してですが、本来であれば食材のキャンセルができた2日分に関しては給食費を返金しなければならないところではありますが、今回はその費用27,440円（一人当たり約560円）は、高騰を続けている保育材料費や食材費また夏場の光熱水費といった子どものための事業費として活用させていただきます。

どんなお願い事をしましたか？

港南区のカフェこやぎさんの里山から切り出した竹が玄関前に二本。今週から玄関前には七夕の短冊が飾られました。何気ないお願い事でもそこには親の願いや子ども達の真剣な夢が書かれているようです。「プリキュアになりたい」「ウルトラマンになりたい」といったお願いの他に「へいわになりますように」「せんそうがおわりますように」といった願いも書かれていたのが印象的でした。ひとりひとりの子どもの表情を思い浮かべながら読むと“その子らしさ”が出ていて楽しい気持ちになれますね。

各クラスの様子をお伝えします！



にこにこ



クラスのウッドデッキで育てているキュウリがとても大きく成長したので収穫しました！ウッドデッキに出るとじっと観察したり土や葉に触れ、感触を確かめたりしながら一緒に成長を見守ってきました。保育士が収穫すると、それに気付いた子どもたちは不思議そうな表情を浮かべながら近づいて見に来ました。ギュッとキュウリを掴むとトゲトゲしていることに驚き保育士のことを不安な表情で見つめる子どもやじっと見つめてから恐る恐るツンッと指先で触れる子ども、大きな口を開け、舐めて口で感覚を確かめる子どもなど…反応は様々でした。初めての出会いがたくさんあるにこにこ組。「楽しい」や「不思議」、「面白い」など子どもたちの感じていくものを共有し、これからも一緒に楽しんでいきたいと思います！



よちよち



雨上がり…泥水が溜まった乳児の森は子どもたちの第2の遊び場！！初めはぬかるみに足を取られ「ああ〜」と保育士に助けを求めていた子も、少しずつ慣れると“あっちに行きたい！”と保育士の手を引く姿も見られ、「うわあ〜」と嬉しそうに乳児の森へ行くようになりました。タライの中に溜まった泥水に触れる、掬う、掬った泥水を移し替える、土に流して足でバシャバシャする、ハルジオンや小判草を入れてレンゲで掬う、土の塊を入れることで透明の水が「茶色になった！」と発見する、泥で汚れた手をテーブルに手形をつけて楽しむ、汚れた手が水で綺麗になることに気付く…など様々。そんな子どもたちとこれからもたくさんの自然と触れ合いたいと思います。



すくすく

草花に興味を持って戸外に行く子どもたち。見つけた草花と水を容器に入れている姿を見ていた子が「こおりにしたい」と話をしていたことから、氷遊びをしました。摘んできた花や草、実を容器に入れて一緒に氷を作り、提供すると「つめたいね」とずっと触っている子もいれば氷の冷たさに手を離してしまう子もいました。そこから大きな氷をタッパに入れ溶かしていく段階も観察しました。時間が経ったときに中を見てみると「なくなってる！」と驚く子どもたち。そして「(氷の中に入ったものが)とれないね」と不思議に思い、取ろうと爪で削ったり、水に濡らしたりして溶かそうとするなど様々な行動が見られました。また、おままごとの具材としても使用し、泥水の中に入れて混ぜていると「ちいさくなったよ！」とい気づきがありました。子どもたち同士でやっていることを真似する姿や他児の発見から新しい気づきになっていました。子どもたち一人ひとりに不思議を感じる場面が違って面白く感じ、一緒に体験を増やしていきたいと思います！



のびのび

のびのび組で大ブームになっているのは…ダンゴムシ！園庭に出るたびにダンゴムシを探し、見つけ、観察することを楽しんでいます。そんな中、子どもたちから「ダンゴムシは何を食べるんだろう？」という疑問が出てきました。「葉っぱかな？」「野菜じゃない？」「お菓子も食べるかな？」と様々な意見が挙がったので、給食で残った野菜や魚、果物、園庭に生えている雑草、枯葉などを集めて、ダンゴムシのためのごはん屋さんを作ることになりました。大きな空き箱に、子どもたちが見つけたダンゴムシをたくさん集め、食べそうな物も入れて、ごはん屋さんの開始です。野菜の上でじっとしていることに気づいて「寝てるのかな」「今食べてるんだよ」と友だちと話したり、しばらく時間が経ってから見てみると、「きゅうりの黄色い所だけ無くなって！」と発見があったり。今までも毎日見ていましたが、新たな気づきがたくさん生まれました。しかし、捕まえた半数以上が次の日には死んでしまいました…。死んでしまった理由をみんな考えて、「ご飯が少なかった」「砂も入れなきゃ」と更に新しい意見があったので、第二回ダンゴムシのごはん屋さんを行う予定です！





わくわく

園庭に出ると、散歩中の亀のあーちゃんにイタドリやキウイの葉や水をあげたり、モンシロチョウやアオムシがポタジェガーデンのキャベツに集まることに気付いて捕まえたりに夢中になっている子どもたち。そこで、《生き物がこれだけ好きな子どもたちが蚕と出会ったら、きっと新たな“心が動く体験”が始まるはず！》と、定期的に蚕を観察する機会を設けてきました。すると、最初は数名でしたが、蚕が大きくなるにつれて興味を持つ子が増えてきたので、観察するだけでなく自分たちでもお世話をするに。容器を二つ用意して子どもたちに相談すると、「大きいのと小さいのを選んで比べたらいいんじゃない？」とのアイデアが上がり、2匹ずつ選びました。毎日お当番の子が担任と一緒に掃除と餌やりをしています。大きな蚕がますます大きくなっていく一方で、小さな蚕の1匹はあまり桑の葉を食べず、ついには動かなくなってしまいました。「寝てるんじゃない？」「死んじゃったんじゃない？蚕の病院に連れていったらいいんじゃない？」「ママがいないからご飯食べたくないんじゃない？」と考えを巡らせる子どもたち。決まった答えを求めるのではなく、子どもの考えを引き出す為の問題提起をしながら、子どもと命との対話を見守り続けたいと思います。



いきいき

ホワイトボードマーカーペンで描いた絵が水に浮かぶ不思議に興味を示して夢中で遊んでいます。コツがいる遊びなので思うようにいかず、なかなか浮かばない…ということもあるのですが、絵を浮かすことに成功した子が、うまくできない友だちに対して「こうやるとできるんだよ！」とやり方を伝え協力して遊ぶ姿がありました。また、この遊びを繰り返している中で、「水に浮かんでいる絵に紙を付けたらどうなるのだろう？」という疑問が生まれました。挑戦してみると、浮かんだ絵が紙に移動し、子どもたちは驚きの反応！さらにそこから水面に浮かべた絵の具の模様を紙に写し取る『マーブリング』を楽しみ始め、遊びがどんどん展開しています。

また、子どもたちと魔女の間で手紙を通したやり取りも続いていて、最近では魔女からもらった呪文に、ほうきやロウソクなど新たな絵が描き足されていました！「呪文の表紙にある石が全部揃えば魔女が現れるんじゃないか」「魔女は森にいるから、お泊り会は森に行きたい」などの声もあり、お泊り会をとっても楽しみにしています！



給食室

暑い日が続くようになりました。梅雨が明けると、プールなどのお外での活動時間も増えていきます。そんな時に気を付けたいのが熱中症です。熱中症対策には、こまめな水分補給が大切ですが、水分と聞くと飲み物だけを連想する人も多いはず。しかし、1日にとる水分量の約半分は食事から摂取しているものだそうです。食事に含まれる水分は、料理の組み合わせや食材、調理法で変化します。そのため、夏場は食事に汁ものを1品プラスしたり、果物をつけたり、水分を多く含む食材を使うことで、上手に水分補給を行うことが出来ます。特に、夏が旬のお野菜は水分を多く含んでいるためオススメです。

ここで保育園の夏野菜レシピを1つ紹介します。

〈きゅうりのおかか和え〉材料：きゅうり、かつお節、しょうゆ、塩
作り方は、乱切りにしたきゅうりにかつお節と調味料を和えるだけ。

簡単なレシピですが、子どもたちに人気のメニューです。園では、きゅうりをサッと茹でて加熱処理していますが、生でも美味しく食べられます。

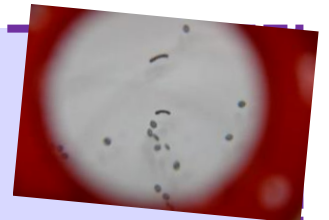
これからが夏本番。食事を工夫して、バテない元気な体を作りましょう！

今月の行事

1日（金）	尿検査2次（異年齢）
7日（木）	七夕
9日（土）	布団乾燥
14日（木）	久保先生のわらべうた
15日（金）	いきいきお泊まり会（～16日（土））
19日（月）	総合防災訓練



こんなに大きくなりました！



5月、卵の状態で作ってきた蚕。約1か月半の時を経てこんなに大きくなりました！
孵化した時は黒く、肉眼では見えにくかった体も今では色も変わり、どんどん成長しています。朝・晩とたっぷりあげている桑の葉もすぐになくなってしまいうほど、猛スピードでご飯を食べているからですね。

子どもたちも「いっぱい食べているから大きくなってるよ！」と教えてくれました。
これからどんな姿を見せてくれるのかまだまだ楽しみがありそうですね！





木育係より



6月に、ポタジェやハーブガーデン等を管理してくれているグリーンアンバサダーでもあり、ハーブインストラクターの林さん宅でハーブ研修を受けました。内容は、①エディブルフラワーの砂糖菓子②ハーブチーズ③ノンアルコールのモヒート④浜辺の海浜植物の観察など盛り沢山でした。ハーブを摘み取ってから研修のスタートです。砂糖菓子は、イギリスでエリザベス1世の頃にティータイムに使われていたそうです。作り方は簡単！ハーブや食用花に筆で卵白を塗り、グラニュー糖をまぶして乾燥させれば完成。卵白の塗り方で砂糖の付き方が人それぞれ違い、みんな無心になり時間を忘れてしまうくらい夢中になれました。次は『ハーブチーズ作り』が始まりました。これも材料が揃えばあとは混ぜるだけで簡単ですごく美味しく出来ます。またハーブを刻んでいる時は、良い香りがしてすごく癒されますよ。

ランチはハーブづくし。ハーブチーズはパンに塗り、砂糖菓子はデザートヨーグルトにのせていただきました。飲み物は、モヒート。（今回はノンアルコール）とても優雅なひと時を過ごす事が出来た素敵な研修でした。

どれも簡単なので、お子さんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか。

ちなみに、ハーブやエディブルフラワーはスーパーで売っています！

◆おすすめハーブレシピを2つ紹介！

『エディブルフラワーの砂糖菓子』

【材料】・ミントなどのハーブ・エディブルフラワー（バラなど食用の花）

・卵白・・・少々

・グラニュー糖

✿ 2～3日そのまま置いて十分乾燥。出来上がったら冷蔵庫又は乾燥剤を入れて保存できます。ケーキやパンケーキ、ヨーグルトの上に飾って楽しめます。



『ハーブチーズ』

【材料】・クリームチーズ・・・200g

・イタリアンパセリ、チャービル、ディル・・・細かく刻んだもの各大さじ1

・レモン汁・・・小さじ1/2

・すったニンニク・・・少々（お好みで）

・塩、ブラックペッパー・・・少々

【作り方】○ チーズは常温でやわらかくしておく。

○ ハーブを細かくきざむ。

○ 練ったチーズにニンニク、塩、ブラックペッパー、レモンを入れ混ぜる。

○ 最後にハーブを加えて練りこみ完成。

✿ 茹でたポテトやサンドイッチ、スパゲティ、オムレツにのせてアレンジできます。

